

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	大和メディカル株式会社	事業所名	看護小規模多機能かしの木
所在地	(〒 990 - 2483) 山形市上町四丁目 6 番 2 4 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

サービスの特性を生かし、訪問看護と連携しながら医療ニーズの高い利用者にも対応し、質の高い看護・介護を行っている。緊急の相談には、相談受け付けから受け入れまで迅速に判断し、受け入れしている。また、他の短期入所では対応困難なケースも短期利用居宅介護で受け入れ、在宅介護の積極的な支援を行っている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 10 月 12 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 3 月 11 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (3 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (___ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業所運営の評価 (評価項目 1～10)	① 事業所の年度目標を立てる ② 計画的な勉強会、外部研修の参加(動画等の活用) ③ 無資格者の認知症研修受講 ④ 人材募集の継続	① 職員へ事業所目標の意見募集 ② 動画やウェブ研修等活用 ③ 無資格者の認知症研修受講 ④ 人材募集の継続	① 各職員から意見を募ったが集約できなかった ② 研修の年間計画を立て実施。外部研修だけが学びの場ではない、日頃の業務から学ぶ姿勢が大事。また外部研修は与えられるだけでなく、自発的に参加するものと心得ること ③ 該当者なし ④ 正規職員が不足(特に夜勤可能な職員)、派遣職員で補っている。人材募集は今後も継続	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	① サービス担当者会議や初回面談等への参加(多職種) ② 外部訪問同行によるケア内容の統一、確認、指導 ③ 自立支援に向けたプラン作成	① サービス担当者会議や初回面談等への参加 ② ケアの統一を図る為、同行指導(初回訪問同行) ③ 自立支援、機能維持の為のプラン作成	① 看護師の参加は行えているが、介護員の参加は少ない(業務の都合上) ② 初回だけでなく、フォローアップ目的の同行指導が必要 ③ ミニカンファレンスを適宜開催し、都度支援内容の見直しができた
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 事業所内ネットワーク(ザイオン)による申し送り、周知事項の伝達 ② 現行会議の継続(特定行為業務等関係者会議等) ③ ネットワーク連絡会等の参加による	① ザイオン以外に、大事な内容は全職員に伝わるまで口頭伝達を工夫した ② 各種会議は概ね月1回開催し、会議録を回覧 ③ ネットワーク連絡会等は主に管理者やケアマネが参加し、多機関との情	① 情報伝達が不十分という評価は、受けて側の意識の問題ではないか ② 会議録回覧済みの印で、目を通したことを確認 ③ 今年度は特にチームわん・ついで話題に出ている地域の防災について、

別紙 3-3

		多機関との情報交換、情報共有	報共有に努めた	関連する職員（主に委員会関係）に情報伝達した
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	<ul style="list-style-type: none"> ① 在宅介護の積極的な支援 ② 看取りの対応の充実（ガイドラインの取り組み） ③ 緊急時の宿泊対応 ④ 感染症対策の強化 ⑤ 地域と連携した非常災害対策と訓練実施（※BCP 作成） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 問い合わせには、人的・地理的状況を勘案し、受け入れを判断 ② ガイドライン等の内容を踏まえ、利用者本人、家族等への意向確認や話し合いを行い、ケアを実施した ③ 本人の状態や家族の状況をみて判断できた ④・⑤ 委員会内で議題に出ており、実施方法を今後検討 <p>※BCPは猶予期間中（令和6年3月末まで）に整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談内容を現場と共有し要望にできるだけ応えるよう、訪問や送迎経路、時間、配車等調整した ② 看取りに関するガイドライン等は現場に携わる介護職員も知っておく必要がある ③ 家族の負担軽減や利用者の想定外の怪我等、臨機応変な宿泊対応ができた ④・⑤ II-2 にもあるように、チームわん・つーの情報も得ながら、検討していく
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> ① 各職員のメモの携行 ② 出来ていることは今後も継続 	<ul style="list-style-type: none"> ① メモ帳（メモ用紙）を持ち歩く ② 出来ていることは今後も継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 持ち歩くだけでなく、気になること、大事なこと等、メモを取る癖をつける ② 出来ている項目は継続的に取り組む ③ その他：育成計画の評価が低いが、会社に求めるだけでなく、自分はどうなりたいか、自分で目指す目標は自分で立てるべき。その上での育成計画（長期・短期）ではなかろうか

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・動画やウェブを活用した研修等、学ぶ姿勢を今後も持ち続けること。与えられた研修だけでなく、自発的な学びの取り組みをして下さい。 ・人を集めること（人材募集）は会社の大きな仕事。特定行為や現場で取り組んでいることを会社は評価をし、中長期的な計画で人材の募集をして欲しい ・出来ていることを今後も継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ①人材募集を引き続き行い、人員不足を解消する ②働きやすい職場環境の継続（希望休やシフトの調整） ③法人の理念を踏まえ、来年度に向けた事業所の目標設定 ④計画的な研修と勉強会の継続（動画研修の活用） ⑤送迎・訪問の運行路の調整や業務見直し・改善による負担の軽減 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職以外に、業務の許す範囲で介護職の参加を増やす ・介助すれば簡単だが利用者ができるように工夫する介護が行われている、これからも自立支援の継続を ・出来ていることを今後も継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ①サービス担当者会議や初回面談、病院等の実調等へ、看護師、介護員同行し情報収集する ②意向確認し、自立支援に資するプランの作成 ③外部訪問へ定期的に同行し、ケア内容の確認、指導
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・周知を図る、情報を共有することは大事。今後も情報共有の意識をもって取り組むように。 ・出来ていることを今後も継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ①リーダー会議、特定行為業務等関係者会議（概ね月1）継続 ②多機関への相談、報告の継続 ③看取りのカンファレンス、ミニカンファレンスの適宜開催 ④運営推進会議、ネットワーク連絡会等での情報交換、情報提供を継続
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの意思決定におけるガイドラインを知ること等は介護職員への研修の積み重ねが大切、施設で看取りができる安心感の提供を継続して欲しい ・地域交流、双方向の交流で施設のことや役割を知ってもらい、正しい理解を広める機会にすること ・出来ていることを今後も継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ①在宅介護の積極的な受け入れ ②地域活動への施設開放（関係機関等と相談の上）
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が計画的に動くためにもメモの習慣を。忘れない為の意味もあるが、介護の一步は観察、気づき、その原点になる ・コロナが一段落したら、施設開放、交流の場の確保を 	<ul style="list-style-type: none"> ①出来ている事は今後も継続 ②ターミナルケアの充実と医療知識の取得 ③自ら学ぶ姿勢を持ち、柔軟な考えと多角的な視点で介護の幅 	

	・出来ていることを今後も継続する	を広げる ④コロナ感染状況をみながら、施設の開放、行事交流等、地域との関わりを持つ
--	------------------	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	11			進捗評価、評価結果参照	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	12			進捗評価、評価結果参照	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
		ていない人がいる					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		6	7		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 育成計画は作成できていない、不明確 十分な育成計画とは言えない 育成計画があり、おおよそできている 中長期計画はできていないと思う 新規入職者指導の進捗状況をパソコンで 管理、確認できるようにしている					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	8	3		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 動画研修やリモート研修を活用し、スキル アップに努めている 出来ている 内部研修は毎月行えている 外部研修ができていない					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専	3	9	1		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 申し送りやリーダー会議等、都度話し合いの場が持たれ、情報共有に努めている 各種会議録の回覧や、申し送り、サイオン等の活用で情報伝達している					を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	12			進捗評価、評価結果参照	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 会議の中で意見交換できている サービス提供は改善の方向に進んでいる 要望や助言を反映できるように考えている							
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	9	2		進捗評価、評価結果参照	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 人員不足で勤務体制が厳しいが、当日の職員同士で協力し業務が行えている 勤務調整で配慮している スタッフ不足で時間に追われている 協力し合っている							
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随	2	11			進捗評価、評価結果参照	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 申し送りやザイオン等で情報共有しケアの統一に取り組んでいる パソコン内の回覧や伝達で情報が伝わりやすくなった 各勤務帯で申し送りを行っている					で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	12			進捗評価、評価結果参照	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> マニュアルがあり、対策を講じている 時間に余裕がない 朝夜の訪問・送迎が続いている 事故の事例をもとに対策が練られている 訪問や送迎時に携行するものが決まっている					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	11	1		進捗評価、評価結果参照	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられ
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 災害時リスト、マニュアルがある 避難訓練や伝達訓練を定期的に行っている アプリ活用し安否確認の体制がある					

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全く で き て い な い		
							ます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	3	10			進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1	10	2		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できて いる	あまりで きてい ない	全く できて いな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	4	9			進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者や家族の意向に沿った計画になっている					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	11			進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者の状況に合わせ、歩行訓練等機能維持の支援が行えている 個別訓練の予定が組まれている ひとりひとりのレベルにあった計画になっている 向上、維持を重視した計画になっている					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	2	9	1	1	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護師、介護員で利用者の状態を情報共有、予測しリスク管理に努めている 状況変化に応じた計画になっている 予測を踏まえた対応にはなっていない					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	11			進捗評価、評価結果参照	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者や家族の状態変化を反映した計画見直しが行われている 早期に把握できている					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	5	8			進捗評価、評価結果参照	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 通いや訪問を通じて継続的な状態把握に努めている 送迎や訪問を活用し利用者と家族の状況を観察している 連絡帳も活用して情報把握している 気配り、気づきがあったときにその都度所内の話し合いがもたれている 対応できている					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	11	1		進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師を中心に医師と情報共有している 状況変化した際に随時情報共有できている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない	全く で きてい ない		
		他施設との連携はケアマネが中心になっ ている					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	1	11	1		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	1	10	2		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復など	3	9	1		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	の観点から、情報提供や提案等を行っている	の情報共有はできているのだろうか 看護師からの提案や情報提供が少ない 情報提供や提案はおおよそできている 症状や状態に合わせた指示指導がある					✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	12			進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 管理者やケアマネが行っている おおよそ説明できている 分かりやすく説明しても利用者が理解しているかは不明					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11	1		進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 管理者やケアマネが説明している おおよそ出来ている 分かりやすく説明しても利用者が理解しているかは不明					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得て	1	11	1		進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 分からないこと等は看護師に相談し、看護師から説明してもらっている					

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いる	利用者や家族からの問い合わせには随時 対応できている 利用者や家族に対して看護師からの発信 が少ない 分かりやすく説明しても利用者が理解し ているかは不明					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族等） の希望や意向を把握し、サー ビスの提供に反映している	2	10	1		進捗評価、評価結果参照	✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者や家族の意向に沿った計画になっ ていると思う 出来ていると思う					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定し、 その際の対応方針等につい て、利用者等と相談・共有す ることができている	3	8	2		進捗評価、評価結果参照	✓ 「将来に発生し得る様々なリス クを想定した上での、対応策の検 討と共有」について、充足度を評 価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の状態をケアマネも含めスタッフ 間で共有し、対応できている 看護師と管理者が中心になり、利用者等と 相談し、行えている 利用者の状況に応じて、在宅移行や他施設 への変更等、相談している 対応方針の相談や共有はあまりできてい ないと思う					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者	6	6	1		進捗評価、評価結果参照	✓ 「予後および死までの経過の説

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 本人や家族の要望を聞き、内容や経過を記録している 医師の説明の他、利用者や家族の意思確認、担当者会議や支援経過を記録している					明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	2	9	2		進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	2	8	3		進捗評価、評価結果参照	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	9	2		進捗評価、評価結果参照	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 緊急時に備え、連絡カードや連絡網を整備している 対応できていないように思う オンコール体制で急変にも対応できる					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	2	9	1	1	進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 会議の議題となり、話し合われていると思う コロナ禍で十分に取組めていないと思う 包括的な支援とは言えない					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について	3	10			進捗評価、評価結果参照	✓ 「誰でも見ることができる方法

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおそ できて い る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、誰でも見ることができる ような方法での情報発信が、 迅速に行われている	[具体的な状況・取組内容] いつでも閲覧できるように整備している ホームページで発信している					での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等について、 正しい理解を広めるため、地 域住民向けの積極的な啓発 活動が行われている		7	4	2	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的 に実施している		5	5	2	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を 併せて受けている事業所」のみが 対象です。該当しない場合は、実 施状況欄は無記入で、[具体的な状 況・取組内容]欄に「指定なし」と記 入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問 看護」を実施していない場 合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	8	4		1	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		2	2	8	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	6	5	1		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		積極的に受け入れている マニュアルがあり、安心して受け入れる体制がある					できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		5	7	1	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	3	4	5		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		人員的な問題で、受け入れたくても出来ない現実がある					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		2	5	3	進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容] 回答なし 3</p> <p>よく分からない 出来ていないと思う 地域の課題提起や改善策の提案はできていない</p>					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		5	7		進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係
		<p>[具体的な状況・取組内容] 回答なし 1</p> <p>適宜家族には必要な助言が行えているが、近隣住民対象はできていないと思う 出来ていないというより、コロナ禍で出来ないのだと思う</p>					

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
							<p>者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・4</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・7</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている・・・2</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>計画書は確認しているが、目標達成は難しい</p> <p>おおむね達成できている</p> <p>ほぼ全ての利用者で達成していると思う</p>	進捗評価、評価結果参照	<p>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</p>
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				

別紙 3-3

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・1 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・11 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 回答なし 1 看護師にいつでも連絡がとれるという安心感はあると思う 看護師による緊急時のアドバイスや訪問等の支援で安心できる体制だと思う	進捗評価、評価結果参照	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・4 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・8 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 回答なし 1 ムンテラを行い、利用者や家族の意向を叶えるよう努力している ほぼ全ての利用者に対してできていると思う 利用者や家族の思いをくみ取り、実行しようとしている	進捗評価、評価結果参照	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」

